

8月2日（金）

スピーチ授業スタート&ドラマレッスン

今朝も元気に全員登校しました。

英語の授業では、今日から最終日までの授業をサポートしてくれる3人の英国人大学生が加わってくれます。生徒達のスピーチを十分にサポートが出来る様、クラスアシスタントは全員高等部生より年上です。高校の高学年から大学を卒業した人までの年齢ですが、全員優しく親しみやすい感じの学生さんたちです。アシスタントの中には、去年も手伝ってくれた学生さんがいますので、きっと皆さんのスピーチ内容も、グッと上達させてくれると思います。



午前中の授業が終わると、ランチタイムの時間です。晴天が続き、殆どの生徒たちが外で食べました。ランチタイムには、ホストマザーに作ってもらった英国風のお弁当をいただきました。サンドイッチの他にサラダ、ケーキ、スナック、フルーツ、ヨーグルトなども入っていて、日本のお弁当とはかなり違う様子です。ホームステイ生活からは英国食文化についても学んでいます。ランチを早目に終わった生徒さんが、学校の広いグラウンド（芝生）で、走ったり、サッカーをしたり、バドミントンしたり、リラックスをしたりする人など、それぞれの時間を過ごしています。



今日の4時間目は、生徒たちとクラスアシスタント全員で「ドラマ」レッスンの特別授業を行いました。「ドラマ（アクティング）」は日本人にはあまりなじみのない科目ですが、イギリスでは小・中学校から授業の必修科目として「ドラマ」の授業があります。このレッスンでは、大勢の前で話す際に必要となる技術や、感情を豊かに伝える表現力、クラスメイトと一緒に課題に取り組むチーム力が培われます。

今回のドラマレッスンでは、大勢の前で話す際に必要となる表現力や、集中力、クラスメイトと英国人クラスアシスタントと一緒に課題に取り組むチーム力が培われる授業です。2時間のドラマレッスンの間には、様々なアクティビティを行いました。例えば、全員円になって座り「ジャングルにいるつもりで、聞こえてくる音を出してみてください。」という課題が出ました。鳥の声をだしたり、サルになりきるイギリス人アシスタントもいましたが、日本人は「どんな音を出せばいいかわからない…」と悩みながらも足音を鳴らしたり、鳥の

鳴き声にトライしていました。

このドラマのレッスンでは、感情をダイナミックに表現することで、自分の伝えたいことや感情を効果的に観客に伝えることも一つの大きな目的です。「アイコンタクトがとても大切です。」「各自が自分のアイデアを考えて表現しましょう!」「表現したい感情が相手に伝わるようにするには、適切な顔の表情や声のトーン、大きさなどが重要です。同じことを言っても声のトーンで意味が変わってきます。」と、アクティビティーを行う際にネイティブ教員がするアドバイスには、普段の自己表現にも応用できる内容が沢山組み込まれています。



授業の最後、ネイティブ教員に用意して頂いた原稿に基づいてミニ・ドラマに挑戦しました。原稿には背景やキャラクターなどの詳細に決まりがない為、生徒達自身がグループ内で話し合っ、自分達で決めました。制限時間が与えられ練習した後に1組ずつ発表しました。グループごとにオリジナリティーに富んでいて、生徒達の想像力や個性が出るミニ・ドラマとなりました。

最初は戸惑いながら、恥ずかしがりながら演技をしていた生徒達もいましたが、最後はノリノリで演技をしている生徒も多くいました。



明日の午前は、スピーチ取材のため、小グループに分かれ、様々な施設訪問やインタビューを行います。しっかりと準備をして、たくさんのスピーチ材料が集められるよう、頑張りましょう!